# 子どもの森通信

第6号
2009年
6月発行

2009年3月撮影

## 森の学舎環境文庫

平成20年11月1日、森の学舎に環境文庫がオープンしました。自然環境豊な場所で、のんびりと環境の勉強ができるように、環境関係の図書、児童書・絵本、温暖化・気象、食・農等の書籍を180冊用意しています。オープンの日には、エコ・カレンダーの製作と気象予報士の岩倉尚哉さんによる「お天気よもやま話と地球温暖化」と題した記念講演を開催しました。また、ドングリのペンダントとストラップのカーボン・オフセット・グッズを常時置いています。

環境文庫は、土日を中心に週に2日間程度、ボランティアスタッフが常駐します。森林や環境等の図書と児童書・絵本は、自然環境が隣接している場所で読み、図鑑を持って実際に樹木や植物等に触れて学習する等、街中では味あえない図書館です。

森の学舎では、環境文庫以外に、環境プログラム(体験型環境学習)として、デイキャンプ、ドングリとあそぼう、二酸化炭素による地球温暖化学習を開催しました。今後、環境文庫の蔵書数を増やしていきます。また、環境プログラムを森の学舎を拠点に開催し、環境情報、学習の発信拠点として、更に充実を図っていく計画をしています。

森の学舎は、みなさんが遊びに来るのをお待ちしています。

森の学舎環境文庫…… 1
森の学舎物語り！…… 2
森で学ぼう・森で遊ぼう…… 3
森づくりボランティア養成セミナー … 4

森の学舎ができるまで

1：2007.11 月室内掃除開始（要５ヶ月間）
2：2008.10 月環境文庫設置
3：外壁板の水洗い
4：西側塗装
5：南側塗装
6：教室棟西側窓木枠ペンキ塗装
7：グラウンド側校舎壁塗装・管理棟トタン塗装
8：2008.12 月完成

# 森の学舎物語り！

## 旧西門川小学校松瀬分校が、環境学習の拠点「森の学舎（まなびや）」となるまで

西門川小学校松瀬分校跡を子どもの森の活動拠点として、門川町より２００７年11月１日付で譲与されました。

松瀬分校は、１８９６年（明治29年）開校の小学校（川内尋常小学校松瀬分校）で、２０００年４月に児童数の減少で休校、その後２００６年４月に廃校となりました。２００７年２月に、門川町が廃校の有効活用団体を公募して、子どもの森がその活用団体に選ばれ、校舎２棟は、無償譲与、土地は年間11万４千円で賃借となりました。

約８年間放置された校舎ですから傷みが多くあり、修繕を自前で、急いで実施することが必要な状態でした。特に、昭和27年築の教室棟は、痛みがかなりありました。外板の欠落や割れは、雨が壁内部まで振り込むので、急いで修繕する必要がありました。他に、教室棟の雨漏り、シロアリ被害、浄化槽の破損等次々と大掛かりな修繕箇所が見つかりました。

できるだけ、元の建物の雰囲気を残していきたく、ボランティアの皆さんの協力で塗装、壁板の張替えを行いました。どうしても素人では出来ない雨漏り修繕と壁板の張替え、外壁上部のモルタル塗装、窓と玄関の木枠復元は、大工さんにお願いしました。修繕費用の一部は、日本財団の助成金で賄いました。

そして、浄化槽の破損水漏れ修理を経て、電気の引き込み、松瀬地区の協力により水道が使えるようになり、連合愛のカンパの助成により環境文庫の設置ができ活動拠点としての整備ができました。しかし、まだ修繕が必要な箇所も残っています。２００９年度も、子どもの森の活動として、森の学舎修繕を実施していきます。

２００８年度の修繕に協力いただいたボランティアの延べ人数は、会員他も含めて47名でした。ご協力をしていただいた皆さま、ありがとうございました。

なかま（会員）を募集しています。
あなたの持っている思いや知識・技能を環境活動に活かしませんか？

### 森の学舎使用料金・利用規定

**一般（非会員）**
○１泊3,000円　　○グランドだけの使用は無料
○トイレ使用時はワンコイン（100円）の寄付願い

**企業等団体**
○１泊5,000円　　○グランドだけの使用は無料
○トイレ使用時は1,000円
○寝袋貸し出し…１泊500円（クリーニング代含む）

グランド使用は、後片付け徹底と火を使わないことを前提とする。

## 《環境プログラム》

森の中等での環境啓発実践活動にこだわり、環境について考えてもらう体験型学習です。親子53人の参加者と延べ23人のスタッフとで、楽しみながら遊びながら、環境のことを学びました。

五十鈴小学校椎茸栽培学習は、2学年3年間が過ぎ、しいたけコマ打ちをした子供たちも中学生になりました。しいたけほだ木は、グランド北側の山際に起こしています。次の子供たちが、これからも秋と春にしいたけの収穫をすることができます。

## 《豊かな森づくり活動》

宮崎県森林環境税から活動資金の一部助成を受け、宮崎県と宮崎県教育委員会の後援と門川高等学校と協力して、28人（延べ45人）で、計6回の活動をしました。次年度以降も継続して活動を進めて行きます。

**子どもの森1号地**：杉林にカシやシイ等を植樹して、針葉樹と広葉樹が混交する森づくりで、土表面に腐葉土を形成させて緑のダムにします。

**GOCAN（五感）の森**：台風で植林されていた杉が流された門川高等学校の演習林に広葉樹を植樹して、自然環境の復元をし、水源の涵養や災害防止など森林の持つ公益的機能の再生を図る活動です。

## 《みやざき森づくりボランティア協議会加盟団体としての活動》

宮崎県内の森づくり団体が集まって、情報交換や森づくりの研修・技能を学んでいます。また、一般の方への普及活動も行っています。

子どもの森は、2005年に加盟し、現在19団体が所属しています。2008年度同協議会総会が、森の学舎で実施され、横山代表が、同協議会の理事に就任しています。

## 環境プログラム

**デイキャンプ**　（五十鈴川での様子）
ネイチャーゲームを通して、自然にふれ自然環境を考えてもらいます。　8月3日

**五十鈴小学校椎茸栽培学習**　ほだ木起こし作業後子供たちから、コマ打ちから今日までの椎茸栽培に関わってきた事についての意見を聞きました。10月8日

**どんぐりとあそぼう（ドングリ工作の様子）**
ドングリ苗木を育てる学習をして、自宅でドングリの苗木を育てます。　11月9日

**二酸化炭素による地球温暖化の環境学習**
ボーイ・スカウト延岡第4団（13人）による二泊三日の研修キャンプ　12月28日～30日

## 豊かな森づくり活動

**GOCAN（五感）の森**

**子どもの森1号地**

## みやざき森づくりボランティア協議会加盟団代としての活動

**20年度みやざき森づくりボランティア協議会　総会・森の学舎にて研修**
熊本大学徳野貞雄教授の講演　6月21日・22日

**宮崎市環境フェア**　10月5日
森づくりをアピール「どんぐり工作・どんぐり双六」

**森から海までシンポジウム記念植樹**
西都市ロキシーヒルにて　2009年1月25日

**森から海までシンポジウム**　2009年1月25日
基調講演「鉄が地球温暖化を防ぐ」畠山重篤　氏

みやざき森づくりボランティア協議会　http://www. moridukuri.com/

## 森づくりボランティア養成セミナー開催

**宮崎県NPO・ボランティア活動人材育成・体験プログラム開発事業　　３月８日・２２日**

目的：環境問題への取組みのひとつである森づくり活動に継続して参加するボランティア、森づくり活動を自らコーディネートするリーダー的ボランティアの育成。

この事業は、宮崎県生活・協働・男女参画課とお互いの立場や特性を認識・尊重しながら、共通の目的を達成するための協働事業です。

《３月８日》２３名の受講者が森の学舎に集合しました。１０時からの開講式、代表挨拶のあと、本日の講師である宮崎大学農学部準教授高木正博さんの「森と環境の関係・里山概論」の講座がスタートしました。

午後は屋外で、林業・木材製造業労働災害防止協会の山ノ上さん・川戸さんに、チェンソー・草刈り機の使い方を教わりました。お手本を見たあとには、木に見立てた丸太を一人一人実際に切ってみたり、草を刈ったりしました。

《３月２２日》森づくり作業は、作業担当の地元林業者と協議して、昨晩の雨で足場が滑り危険であることと、朝から雨が降ったり止んだりでしたので中止しました。雨天時の代替として用意していたビデオによる環境の学習となりました。直接には、森づくりではなかったのですが、地球温暖化問題を受講者自身でビデオを観て考えてもらいました。

午後は、宮崎県林業研究グループ連絡協議会会長の黒田仁志さんのお話を聞きました。横山理事長による県内の森づくりボランティアの実態について活動紹介をしました。

《取　材》ＭＲＴテレビ/イブニングニュース、わぃ WaiTV（延岡ケーブル TV）/ここほれワイワイ
パワーボール/日本財団ＣＡＮＰＡＮマガジン、ＭＲＴラジオ/木佐貫ひとみのおしゃべりな夕暮れ

## ＊2009年度活動予定＊

| 2009年 | 予定日 | 事業名 | 場所 |
|---|---|---|---|
| ６月 | 20（土）<br>21（日） | 夏の下草刈り（合宿編） | GOCANの森<br>子どもの森１号地 |
| ７月～<br>１０月 | 中旬～下旬 | 釜戸小屋の建設<br>お風呂小屋の建設 | 森の学舎グランド |
| ８月 | 8（土） | 川をたのしく親しもう<br>釣り、ネイチャーゲーム | 森の学舎 |
| ９月 | 5（土） | 秋の下草刈り | GOCANの森 |
| ９月～<br>２月 | | 竹林の整備 | 森の学舎裏山 |
| １１月 | 7（土）<br>～8（日） | 宿泊型自然体験活動<br>ドングリ苗木育て、ドングリ工作、<br>樹木の二酸化炭素吸収量の学習 | 森の学舎 |
| 2010年<br>２月 | 上旬 | 森づくりボランティア養成セミナー | 森の学舎 |
| ３月 | 14（日） | 植樹 | 森の学舎裏山 |

予定変更がある場合は、ホームページに随時掲載していきます。ご確認下さい。

## ＊平成20年度助成金の決定＊

＊日本財団
森の学舎改修　六一〇，〇〇〇円

＊連合愛のカンパ
環境文庫図書、机購入　二〇〇，〇〇〇円

＊ふるさと愛の基金
環境プログラム体験活動　一六〇，〇〇〇円

＊宮崎県環境森林税
森林環境の保全活動　一二九，四三五円

＊宮崎県ＮＰＯ・ボランティア活動人材育成・体験プログラム開発事業　四〇六，四一六円

## ＊企業様より寄付＊

＊株式会社ウィル・シード（東京都渋谷区）　四〇〇，〇〇〇円

WILL Seed 教育を通じてよりよい世の中に

## ＊編集後記＊

▼もりのまなびやが、一年間かけて清掃・修繕・改修を行い開設できました。開舎してワケ月、まだ、まだ、宣伝不足で、皆様に知っていただくことができていないようです。▼今年度は、学舎の利用料金も決まり、ワ月中には、釜戸小屋、五右衛門風呂小屋の建設を行います。ぜひ、研修・学習等にご利用ください。豊かな自然と森の学舎の懐かしい校舎がお待ちしております。

発行・編集：特定非営利活動法人子どもの森広報委員会　〒889-0624 宮崎県東臼杵郡門川町城ヶ丘2−2
TEL/FAX：050-3427-1102　Mail：office09@kodomonomori.info　http://www.kodomonomori.info